

「本山寺山森林づくりの会」活動報告

武田壽夫(文、写真)、倉谷邦雄(写真)、山 國 (写真)

日 時：2017(平成 29)年 11 月 19 日(木) 9:30～15:00

気 象：天候=曇 (12 時の気温：4℃)

活動エリア：45 林班に-03・ろ-03

活動内容：各活動エリアの巡視を兼て、里道の整備・保全、モニタリング調査区の現況確認 ほか

参加者：石原順子、泉家恵子、斧田一陽、倉谷邦雄、下沖裕子、武田壽夫、宮本 廣、山 國

(計 8 名)

<寒波はエラク早足で・・・>

前回の 11/2 は活動地の北半分、自然歩道を含む「4 4 林班」だったが、今日は南側の「4 5 林班」で台風後の現況把握と里道並びに周辺の整備」に取り組む。併せて、モニタリング調査区の現況確認も急がれる。

12 月上・中旬並みの寒気が南下とのことで気温は 4℃。ただ、風が弱いので「寒さは感じず汗は残らず」の動き易い一日だった。但し、昼過ぎに弱い時雨が通り過ぎる。里道保全とエリア一帯の巡視の二組で活動を開始(モニタリング調査区の現況把握は巡視組が担当)。

紅葉シーズンとあってハイカー多数で「高槻歩こう会」の老々男女が 60～70 名、親子連れ、飼い犬連れなどで山は賑やか。

<暴風雨の後始末・続編>

「4 5 林班」の里道は原大橋へと降る天然林(「に-0 3」)を通る。その荒れ具合は 2 日に作業した自然歩道や開けた「4 4 林班」以上で、倒木・落枝は至る所に積み重なる。写真の通りの「足の踏み場」もない場所も多く、また、西側の小尾根はそれに輪を掛ける状態。片付けの苦闘ぶりにも「感心」して頂きたいもの(写真はそれが伝われば念じつつ収録)。午前・午後で漸く約 300m の区間を片付けることが出来た。

一方の「巡視組」は、里道の片付けは「保全組」にお願いしモニタリング調査区 2 ヶ所(常緑樹優勢林内と植林地内の各 1 ヶ所)の現況確認へと進む。植林地に入るとこちらの地面はきれいなもので、写真の通り溪流両側の山腹も同様「スッキリ」して見える。一帯は昨年までに残置木の整理や枯枝打ちを済ませた場所で、荒れが少ないのはその取り組みも多少は与っているのかも？。→(自画自賛気味な表現は「ご容赦を」)

調査区では、「4 4 林班」と同様に「相対幹距比」の基礎データ(標準木の樹高、樹種別立木数)を計測。相当数の除伐が必要との数字が得られたのも、先日の「4 4 林班」の調査区と同じ結果である。

なお、自然歩道上への落枝が懸念された天狗杉手前の太いモミには「頭上注意」のポスターを掲げておいた。また、府有林側から自然歩道を跨って倒れていた中折れ木の処理は済んでいた(ご安心を)。

<ご報告 and 山のたより>

・お礼：今夏亡くなられた秦さんのご遺族から過分のご寄付を頂いた。届けて下さった下沖さんは、これを機会に入会。

・山だより：ワンちゃんの山登り、銀杏の落ち葉 など。

【作業前の「勢ぞろい」】



【落枝が重なる里道】



【里道に被さる倒木-降り方向の撮影】



【左写真の倒木を処理-登り方向の撮影】



【根起こしの倒木が里道を遮る】



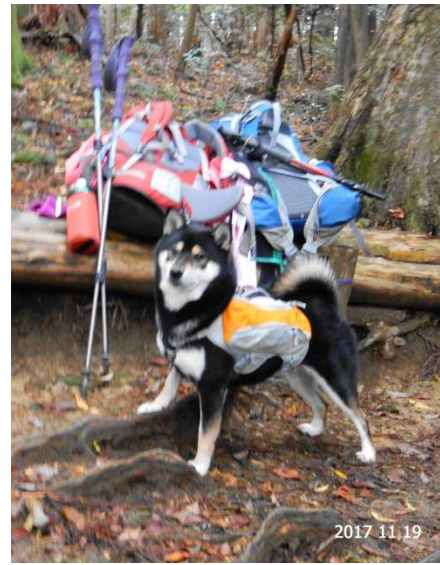
【三人がかりで倒木を除去】



【黄葉の絨毯(本山寺境内)】



【ワンちゃんのハイキング(天狗杉前)】



【昼の憩い-里道保全組】



【天然林中の新しい倒木-未整理エリア】



【天然林中の中折れ倒木-未整理エリア】



【根起し・中折れの倒木が重畳-未整理エリア】



【「45 林班ろ」の植林地-倒木などは見当たらず】



【「45 林班ろ」の谷筋-荒れは見当らない】



【モニタリング区(天然林)の現況調査】



【モニタリング区(植林地)の現況調査】



【自然歩道の注意喚起ポスター(天狗杉付近)】



【ポスターに目をやるハイカー達】

